



レニーと学ぼう!

ミニメド™700シリーズ
インスリンポンプサークル

Insulin pump Circle

CGM編

No. 9

「予期せぬ『要センサ交換』をできるだけ避けて センサを上手に7日間使うために」の巻



Q

「要センサ交換」アラートが出て
センサを7日間使えないことがあります…。



A

「要センサ交換」アラートは、「校正許容範囲外」アラートが連続して発生した後や、何らかの原因でセンサが正しく測定できていない場合に発生するのじゃ。校正の方法やタイミング、センサ装着について、もう一度見直すことが大切なんじゃよ。ケース別に一緒に確認してみるぞ!

「要センサ交換」に至る主な原因

「要センサ交換」となるプロセスは他にもあり、こちらではアラート発生の一例としてあげています。各種アラート発生タイミングは以下の表と違う場合があります。詳しくはユーザガイドをご参照ください。

校正が適切でない

装着部位が適切でない

センサ装着手技が適切でない

テーピングが適切でない

予定より早い「要校正」の発生

校正

原因：システムが測定の信頼性と精度を保つため

「校正許容範囲外」¹

原因：想定範囲外の血糖値入力
・血糖変動が激しい時の校正
・不適切な血糖測定結果の入力
・血糖測定後すぐに値を入力していない
・装着部位、手技、テーピングが原因で正しく測定できていない

原因：センサ測定値が範囲外または急激に変化
・センサが抜けている
・センサの留置状態が適切でなくなっている
・センサ接続部に水分が入っている
・センサが損傷している

「センサ更新中^{*}」アラートの発生²

^{*}一時的な状況によりセンサ単グルコース値を使用できませんが、測定が安定すると、センサ単グルコース値の表示が開始されます。

校正

原因

「校正許容範囲外」¹

・血糖変動が激しい時の校正
・不適切な血糖測定結果の入力
・血糖測定後すぐに値を入力していない
・装着部位、手技、テーピングが原因で正しく測定できていない

「要センサ交換」アラートの発生

原因：上記が原因でシステムが本センサを継続使用するべきではないと判断したため

1. 『インスリンポンプサークルNo.6』をご参照ください。2. 『インスリンポンプサークルNo.5』をご参照ください。

複数のセンサで同様のアラートを繰り返す場合は、トランスミッタの不具合の可能性もありますので、サポートラインにご連絡ください。

較正が適切でない、または不安定な場合

ケース 1

Q

較正は12時間後だと思っていたら、6時間後に「要較正」アラートが発生しました。血糖変動が大きかったのですが、慌てて較正してしまい「要センサ交換」が出てしまいました…。



A

ポンプは測定の信頼性と精度を向上させるために、追加の較正を要求することがあります。次回の較正のタイミングはクイックチェックで確認できます。

上記の理由から、ポンプは12時間後ではなく6時間後に較正を要求する場合があります。次回の較正期限はクイックチェックで確認し、慌てないように備えておきましょう。*

*クイックチェックの較正のタイミングは変わる可能性があります。

クイックチェック	12:03 AM
モード	マニュアル
	12:00 AM
	Jan 1
次回の較正	12:02 PM
前回のボース	--- U
前回の血糖値	100 mg/dL

ステータス>クイックチェック

Tips!

仕事中や試験中など、アラートが鳴って欲しくない場合は、「アラート消音」を使用してください。アラート消音機能の使用中にグルコースアラートが発生した場合は、通知ライトが点滅を始め、センサアラート発生メッセージが表示されアラートが消音になっていることを知らせますが、バイブまたは音は発生しません。

※アラート消音の使用は主治医にご相談ください。

※オートモード終了アラート、オートモード時の高グルコースアラート、低グルコース50mg/dLアラームを消音にすることはできません。これらは設定したグルコース閾値に基づいており、消音にすることはできません。詳細はユーザガイドをご参照ください。



ケース 2

Q

較正は多く行うほど良いと思い、「要血糖値」で入力した値をいつも較正に使っています。また、「要較正」が出たら血糖変動が大きくても較正をしています。そのせいか、7日を待たずに「要センサ交換」になっています…。



A

較正は血糖が安定している時に行うことが大原則です。「要血糖値」の血糖値入力後、ポンプが較正をするか聞いてきますが、較正は必須ではありません。

血糖が不安定な時は、こちらに注意しましょう。

- 「要血糖値」の値を較正に使用しない
- 「要較正」が発生したらスヌーズを設定し、タイミングを先延ばしにする

血糖が落ち着いたタイミングで較正を行ってください。血糖変動が大きい時に較正を行うと、その後のセンサの測定に大きく影響し、適切な測定が継続できなくなるおそれがあります。

「要血糖値」はオートモード開始時、またはセーフ基礎からオート基礎に移行する時に、センサの信頼性を確認するために血糖値入力が必要な場合に発生します。そのため、要血糖値入力の値で、較正を行うことは必須ではありません。

「要較正」はセンサ較正を行って、センサグルコース値の受信を継続するために、血糖値入力が必要な場合に発生します。較正を行わないと、センサグルコース値を計算することができないため、センサグルコースデータを継続して受信することができません。

Tips!

血糖変動が大きい場合の対処方法

「要血糖値」が発生した場合

要血糖値
10:50
オートモードのための新しい血糖値を入力してください。

センサ較正 ?	
血糖値 135mg/dL でセンサの較正を行いますか ?	
いいえ	はい

「いいえ」を選択し、その値を較正に使用しないでください。

「要較正」が発生した場合

要較正	
15:00	
血糖を測定し、センサを較正してください。	
スヌーズ	0:30 hr

スヌーズを設定し、較正のタイミングを先延ばしにしてください。

ケース3

Q

「センサ更新中」が出て1~2時間経ちましたが改善しません。ISIG履歴を確認したところ、ISIGが一桁でとても低くなっていました。



A

装着時のセンサの損傷、またはセンサが正しく装着できていないことが考えられます。



ISIGは高すぎても低すぎても測定を継続することができません。ISIG履歴からISIGを確認して、以下の対処方法を注意しながら行ってみてください。

Tips!

まずISIGを確認して、丁寧に対処しましょう

ISIG履歴		23:03
時刻	mg/dL	ISIG
23:43	152	54.43
23:38	151	54.44
23:33	150	54.43
23:28	149	54.43
23:23	150	54.43

オプション>履歴>ISIG履歴

考えられる主な原因

センサのISIGが6nA未満の場合

- ・センサが正しく装着されていない
- ・装着時にセンサが損傷した

ISIGが200nA以上の場合

- ・センサの接続部に水分が入っている
- ・センサが正しく装着されていない

ISIGが大きく変化している場合

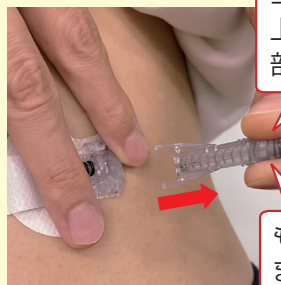
- ・センサの接続部に水分が入っている
- ・装着時にセンサが損傷したり抜けている

① センサが損傷しないように丁寧に装着する



センサが抜けまいよう、センサコネクタとセンサベースを押さえる

重要! チェック

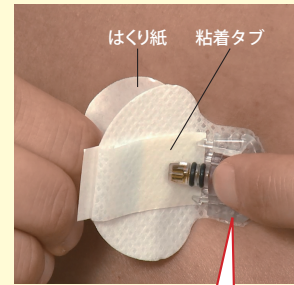


ニードルハブの上部(ギザギザした部分)を持って!

重要! チェック

もう片方の手でまっすぐ真上に引き上げる。ねじらない。

重要! チェック

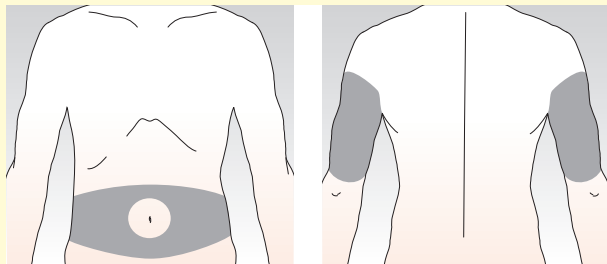


センサが抜けまいよう、しっかり押さえる。

重要! チェック

『はじめてみよう! リアルタイムCGM』をご参照ください。

② 装着部位の変更やローテーションを検討する



『はじめてみよう! リアルタイムCGM』をご参照ください。

③ 汗をかきにくい部位を選ぶ

腹部に比べて上腕部は汗をかきにくい部位です。上手にローテーションしながらセンサ装着の部位を決めましょう。上腕部に装着する場合は、一人で装着することが難しいため、ご家族の方にサポートしてもらいましょう。

④ 出血した場合には、しっかりと止血する

滅菌ガーゼ、または清潔な布を使用して、センサ上部を最大3分間、圧迫止血してください。

テーピングが適切でない場合

ケース4



突然「要センサ交換」が出て、「センサに不具合が発生しました」とメッセージが表示されています…。



システムが「解決できないセンサの問題」が起こっていると判断すると、「校正許容範囲外」を発生させることなく「要センサ交換」を発生させることがあります。



センサの装着方法や装着部位が適切であったか、もう一度確認しましょう。また、血糖変動の大きいタイミングを避けて校正を行っていたかも併せて確認してください。

Tips!

3種類ある「要センサ交換」のメッセージを確認しましょう

メッセージ	説明
要センサ交換 2回目の校正も、許容範囲外です。新しいセンサと交換してください。	「校正許容範囲外」アラートが2回連続して発生した場合に、このアラートが発生します。
要センサ交換 センサに不具合が発生しました。新しいセンサと交換してください。	トランスミッタが解決できないセンサの問題と判断した場合、このアラートが発生します。
要センサ交換 新しいセンサを挿入し、センサの使用を開始して下さい。	新センサ使用開始時に、「接続チェック」アラートが発生し、センサが正しく装着されていない場合に「いいえ」を選択すると、このアラートが発生します。

Tips!

突然「要センサ交換」が発生する主な原因と対処方法

① センサ装着が適切でない

- ・センサが損傷しないように丁寧に装着する
- ・装着部位の変更やローテーションを検討する

② センサ接続部に汗や水分、血液が付着した

- ・汗をかきにくい部位を選ぶ
- ・出血した場合には、しっかりと止血する

③ 実測血糖値とISIGの差が大きい

- ・血糖変動の少ないタイミングに校正を行う
- ・校正を適切な方法・手順で行う
- ・血糖測定（チップの有効期限や清浄/消毒など）を適切に行う
- ・血糖測定後、速やかに値をポンプに入力する

製品を安全にご使用いただくため、必ず電子添文とユーザガイドを併せてご確認ください。

日本メドトロニック株式会社

ダイアピーティス

〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp



ポンプアクセサリショップ

便利な商品を、ポンプの安全使用にお役立てください。

<https://shop-lenny-medtronic-jp.com/>



インスリンポンプやリアルタイムCGMの使用方法、アラーム対処などのトラブルでお困りのときは下記へご連絡ください



日本メドトロニック
24時間サポートライン

コール ミニ コール

0120-56-32-56

製品の使用方法やよくある質問などをご紹介します。



www.medtronic.com/minimed770g

パソコン、スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます。



クラブレニーで登録のお願い

- ・製品をより安全に、安心してお使いいただくためのメール配信サービスです。
- ・製品の使用を開始する際、できるだけ速やかにご登録をお願い致します。
- ・また、すでに使用を開始されている方も、同様に登録をお願い致します。



www.medtronic.com/clublenny